

グレーターベイエリア(粵港澳大湾区)

◆ 基本情報 ◆

- 気候** ❖ 年間を通じて温暖で湿度のある亜熱帯気候
- 時差** ❖ 日本との時差はマイナス1時間です。
- 言語** ❖ 香港の公用語は広東語と英語。近年普通話(北京語)も採用されています。
広東省内各都市でのコミュニケーションは主に普通話で、ホテル一部観光施設内に外国語が出来るスタッフがいます。タクシーなどでは、中国語表記のメモを用意すると便利です。
マカオではポルトガル語の表記も見られます。
- ビザ** ❖ 基本的に日本のパスポートであれば、ビザ不要です。
- 通貨** ❖ 中国の通貨: 人民元(RMB)、で表記は「元」。補助単位は「角」と「分」。
マカオの通貨はパタカ(MOP)で表記は澳門元(圓)補助単位はアヴォス、アヴォ。
香港の通貨は香港ドル(HKD)。補助単位はセント。
- 電圧** ❖ 220V、50HZ/香港とマカオのプラグはBFで、マカオはまれにCタイプと丸3ピンのB3タイプがあります。
広東省内その他都市はAまたはO2タイプです。

◆ 香港から各都市へのアクセス ◆



広深港高速鉄道(こうしんこうこうそくてつどう)(XRL)

2018年9月23日に開通した香港と広州を結ぶ高速鉄道で全長は142km。香港西九龍駅から乗車し、深圳福田駅へは最速で14分で到着する。出入境審査は香港側で行われる(一地両検)。このため、手続き時間が必要となるので、西九龍駅には乗車する1時間程度早めについていることが必須。座席は2等、1等、特等、商務の4つに分かれている。広州以遠には縦横8つずつの路線があり、グレーターベイエリアのみならず、中国全土、総距離25,000kmのネットワークで主要都市を網羅している。略称は高鐵。



フェリー

市内2か所(九龍側のチャイナフェリーターミナル、香港島側のマカオフェリーターミナル)からマカオや中国各地へのアクセスが可能。
また、フライトとの乗り継ぎの場合に限り、香港国際空港近くのスカイピアからのフェリーも利用できる。



港珠澳大橋(こうじゅおうおおはし)

2018年10月24日に開通した、香港ランタオ島とマカオ、珠海を結ぶ海上橋。香港国際空港からの北ランタオ高速道路を含めると最大全長55km。空港の東側に作られた港珠澳大橋香港口岸が起点で、24時間運行しているシャトルバスでアクセス可能。ピーク時は5分間隔、深夜は本数が少ない。通関手続きはあるが、これとは別に香港市内からマカオ市内まで直通で行ける越境バスも運行している。



MTR(香港地下鉄)

深圳へのアクセスは、MTRでアクセス可能。紅磡駅から羅湖駅、または落馬洲駅までそれぞれ、約50分で、下車後に香港の出境手続きをし、徒歩にて深圳にわたり入境手続きを行う。

※香港からマカオや、中国都市への移動にはパスポートが必要です。 ※その他、香港市内から一部GBA都市へ越境バスも運行しています。

香港政府観光局ホームページ DiscoverHongKong.com

本ガイドに掲載の情報は、2022年3月現在のものです。予告なしに変更になる場合があります。第三者の製品及び、サービスの質と適正に対し、あるいは本冊子の内容の違い、印刷後の変更などに対し、香港政府観光局は責任を負いかねますので予めご了承ください。 ©香港政府観光局 本誌掲載物の無断転載を禁じます。

グレーターベイエリア 早わかりガイド



グレーターベイエリア構想とは?

2017年よりスタートした、香港・マカオと中国広東省内主要都市
(Guangdong-Hong Kong-Macao Greater Bay Area: 略称 GBA)
を統合し、地域発展を目指す計画のことです。
漢字では粵港澳大湾区(えつこうおうだいわんく)と表記します。



佛山 [ふつさん]

香港からのアクセス 約3時間 約90分

【黄飛鴻紀念館】高名な広東武術の使い手、黄飛鴻の記念館。師の生涯を紹介するとともに、彼に関する各種文献や文芸作品、文化的な遺産が展示されている。

【葉問堂】映画「葉問〜イップ・マン」シリーズで世界の武術ファンの関心呼び起し、詠春拳を広めたブルース・リーの師であるカンフーマスター葉問のコレクションが展示されている。



肇慶 [ちょうけい]

香港からのアクセス 約4時間 約90-120分

【七星岩景区】崖と湖と洞窟で形成され、その姿が北斗七星に例えられているエメラルドグリーン色の広大な湖面に囲まれている自然の穏やかな美しさは、杭州市の西湖や桂林の景色に匹敵。

【鼎湖山国家級自然保護区】「北回帰線上のエメラルド」と呼ばれる。白雲寺や慶雲寺などの歴史的な寺院があり、精進料理を楽しめる。



中山 [ちゅうざん]

香港からのアクセス 約3時間 約90分

【岐江】両岸に美しい並木が続いている中山市の中心となる河川。川沿いに、孫文西路步行街、岐江公園、興中広場などと大型ショッピングモールが並んでいる。街を一望できる大観覧車がシンボル。

【孫文西路步行街】クラシックなアーケードやエレガントなファサードなど、フォトジェニックな建築物が建ち並ぶ。



珠海 [じゅかい]

香港からのアクセス 約40分 約70分

【圓明新園】かつて北京にあった離宮、圓明園の40の景勝地のうち18を実物大で再現。中国の明と清の古典的な庭園建築、江南庭園、古典的な西洋建築の3つに分類。

【長隆海洋王国】テーマパーク、テーマホテルがあるリゾート施設。世界最大の水族館は「ギネス世界記録」に5項目で認定されている。



江門 [こうもん]

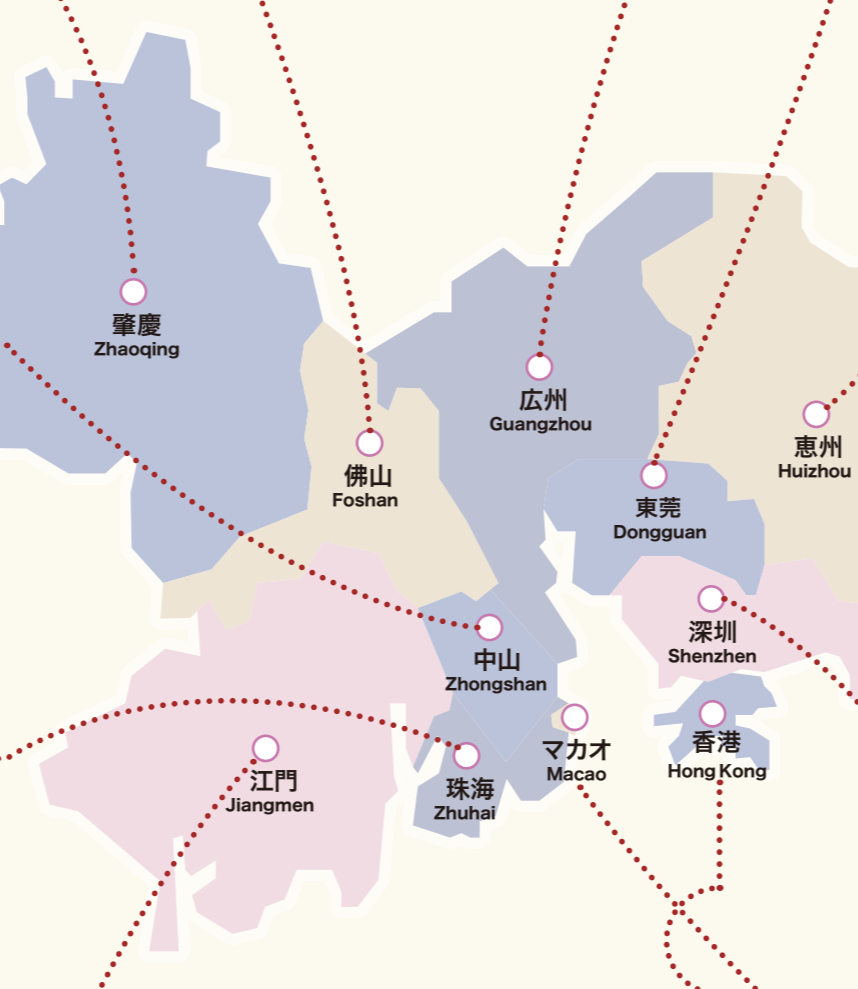
香港からのアクセス 約4時間 2時間

【開平樓閣と村落】畑地に点々と立つ2,000基ほどの楼閣が素晴らしい田園風景と完璧に調和。ユネスコの専門家は「中国と西洋の構造・装飾様式の複雑な融合」と表現。(2007年、世界文化遺産に登録)

グレートベイエリア 各都市主要観光地紹介

香港・マカオと広東省内9都市で構成されているグレートベイエリアは、世界3大ベイエリアと呼ばれている。東京、ニューヨーク、サンフランシスコに続く「次世代成長地域」として注目されています。

香港から簡単にアクセス!



香港 [ほんこん]



広州 [こうしゅう]

香港からのアクセス 約3時間 約50分

【中山紀念堂】1931年完成。中国革命の父、孫中山(孫文)氏を記念するために建られた。高さは47mの八角形の独特な宮殿式建造物。

【西漢南越王博物館】南越国2代目の王の墳丘跡に建てられた博物館。

東莞 [とんがん]

香港からのアクセス 約3時間 約45分

【古代南沙村と塘尾村】古くは南宋時代の建築で明代や清代の嶺南建築の特徴もみられる。国の保護を受けた94の歴史的建造物、32の先祖代々の神社など、保存状態の良い建造物が揃い、中国歴史と伝統文化を垣間見ることができる。

【虎門要塞】東莞近郊にある虎門には、珠江河口の東岸に沿って建てられた軍事施設(要塞、城壁、門番所、兵舎、通路、地下水路、井戸など)が全て良好な状態で保存されている。海防遺跡としては、中国で最も完全で最大。アヘン戦争や第二次アヘン戦争、清仏戦争、日清戦争の貴重な歴史をつたえている。

惠州 [けいしゅう]

香港からのアクセス 約2.5-3時間 約70分

【惠州西湖】美しい5つの湖と、6本の橋、18か所の景観スポット。緑の丘に囲まれ風雅なバビロニアが点在し、自然の美しさと文化遺産が調和。

【南昆山国家森林公园】南昆山の主峰である天堂頂は、標高1,210mの高峰。3月に訪れると、ツツジの花が咲き乱れ、美しい光景が広がる。時間があれば、温泉に入って本場の南昆山茶を飲むのもおすすめ。

深圳 [しんせん]

香港からのアクセス 約1時間 約14分※

【大鵬所城】明代に倭寇の来襲から守るために建てられた城壁の街高さ6mの城壁で囲まれた街は、清代にはアヘン戦争の水軍拠点の役割を果たした。

【錦繡中華・中国民俗文化村】中国の景勝地のミニチュアが展示されているエリアと、56民族を紹介するエリアがある。特設会場にて壮大なパフォーマンス「龍鳳舞中華」は必見。 ※深圳福田駅までの所要時間

マカオ [まかお]

香港からのアクセス 約60分 約45分

【大三巴牌坊】聖ポール天主堂跡は、1602年から30年以上かけて建造された聖母教会で、1835年不慮の火災で焼失し、ファサードと隣接した聖ポール大学だけが残った。

【媽閣廟】マカオと呼ばれるはるか以前から存在し、マカオの名称に由来になっているとも言われている。廟には大門、牌坊、正殿、弘仁殿、観音閣、仏殿の正覚禅林があり、様々な聖なる存在への礼拝のために捧げられたもので儒教、道教、仏教、各種民間信仰から影響を受けてきた中国文化多様性が表われている。

